

コメント

呉, 炊錫
九州大学大学院

<https://doi.org/10.15017/2339074>

出版情報 : 九州人類学会報. 32, pp.68-69, 2005-07-16. Kyushu Anthropological Association
バージョン :
権利関係 :

コメント

呉 炫 錫 (九州大学大学院)

セッションBのテーマは、「近代」と「伝統」の身体技法であった。セッションのテーマからもはっきりしているように、「近代」と「伝統」という言葉は、そもそも対立している概念である。こうした区分に関連してスポーツ社会学の研究においては、大きく二つのパターンがみられる。一つは、スポーツを分析することにおいて、身体のプレイという概念を中心に展開するものがあり、もう一つは、スポーツが近代化の過程の中で生み出されたものとみなし、それを分析することである。今回のセミナーでもこうした二つのパターンに分けることができる。しかし、三人共に主な理論の背景は身体論であった。

ここで、三人の発表を簡単にまとめてみる。

まず、金明美氏は、サッカーが普及することと共に、ナショナリズムが個人にどのように形成されていくのかを論証した。金氏の報告はサッカーが地域社会から普及していくところに注目し、日韓における二つの地域（日本の清水市、韓国の西帰浦市）を中心にフィールドワークを行ったものである。金氏は、日韓両国におけるナショナリ

ズムの概念を異なるものと称した。日本の場合は、天皇ナショナリズムを、韓国の場合は、儒教ナショナリズムと称し、調査を行ったものである。しかし、金氏の報告では日韓におけるサッカーを通じたナショナリズムの身体化が、ローカルな文化から形成していくことは共通的である。

金氏の報告とは対照的に、森山達也氏は、合気道を中心に人間のより本質的なところに注目している。森山氏の「武道」に関する議論は、武道に関する普遍的認識を拒否し、武道に関する新たな解釈を模索している。すなわち、森山氏は、武道が必ずしも近代化によって作られたスポーツではなく、昔から身体技法としての連続性を持つスポーツであると主張する。こうした立場は、武道を行う行為がナショナル・アイデンティティを強化させるという立場とは相違点が見える。すなわち、合気道の「稽古」という行為がもたらすものが、必ずしもナショナルなものとはいえないと述べながら、「稽古」を遂行している人間に主な焦点をあわせる。

一方、岩切氏は、森山氏と類似なテーマで、合

気道道場で行われる儀礼に関して述べている。岩切氏の報告も身体論が主な理論であるが、全体的な構想は、本質主義の立場であると思われる。ここで主な焦点は、儀礼意識である。すなわち、合気道の儀礼意識が道場で再生産されるところに問いかけ、外国（オーストラリア）でのフィールドワークを中心に議論している。そこで岩切氏が主張しているのは、本質的な側面が強調される儀礼意識に文化政治的要素が含まれていることである。

ところが、三人の様々な報告の中で、共通的なテーマをまとめることができる。それは、スポーツが人間の生活でどのように機能しているのかに関するものである。このようなテーマは、大きく二つのパターンが考えられる。一つは、スポーツが本来持っている本質的機能ではなく、別の機能を個々人に植え付けていくプロセスが存在しており、それをイデオロギーの機能とみなして解釈することである。例えば、スポーツを通じてナショナル・アイデンティティが強化されていくことである。もう一つのパターンは、スポーツの社会的機能を人間の本質的な問題として取り扱う概念である。すなわち、身体論の議論を必ずしもイデオロギーの機能ではなく、そもそも人間がこだわる欲求の問題を中心に議論する立場である。このよ

うな議論は観戦型スポーツ¹⁾についても上述した二つのパターンがみられる。しかし、観戦型スポーツを議論する際、より問題化するのは、マスメディアという媒介物との関係が浮上し、それをめぐる様々な問題を問うものが主流である。

私は、スポーツを研究することは、ある社会の特徴をみることだと思う。なぜならば、スポーツはそれが存在する社会の様々な文化的条件によって規定され、それを反映したものあるからだ。したがって、スポーツを分析することにおいては、その社会の全体的構造の特徴を念頭に置くことが要求されるだろう。確かに、「近代」と「伝統」の図式を中心にスポーツを議論することは、近代化が進行してから大きなテーマになっていることは間違いないが、ある意味では、こうした社会、文化的特徴を取り上げながら議論することも必要ではないだろうか。

注

1) 今回の三人の発表では人間がスポーツを実践することに関する議論であったが、スポーツは観ることを通じて体験することもできる。ここでは、それを観戦型スポーツと呼ぶ。